

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：東 智徳

事業名 やましたながつだ かもい 山下長津田線（鴨居地区）	事業区分 街路	事業主体 横浜市
起終点 自：横浜市 緑区 鴨居町 至：横浜市 緑区 白山二丁目	延長 1.5 km	
事業概要 本路線は、3環状10放射道路の一つで、本市北西部地域の交通利便性の向上に寄与する重要な幹線道路です。本地区の整備により、神奈川区と緑区との連絡機能を強化し、JR横浜線沿線の地域拠点と本市中心部との交通の円滑化を図ります。		
H6年度事業化	S32年度都市計画決定 （H14年度変更）	H6年度用地着手 H16年度工事着手
全体事業費	173億円	事業進捗率
		37%
		供用済延長
		0 km
計画交通量		
31,200台/日		
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 3.1 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /166億円 (事業費) : /165.7億円 (維持管理費) : / 0.1億円
		総便益 (残事業)/(事業全体) /517億円 (走行時間短縮便益) : /493.5億円 (走行費用減少便益) : / 17.7億円 (交通事故減少便益) : / 5.9億円
		基準年 平成15年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） ・国土・地域（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）等		
関係する地方公共団体等の意見 事業継続並びに整備の促進を要望します。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 渋滞緩和、交通利便性、市民の安全性の向上のために、道路ネットワークの形成の重要性が高まっています。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 本地区は、平成14年度までに約76%の用地を取得しています。平成16年度から本格的に工事に着手するため、関係機関との調整を進めています。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成16年度から地区西側より工事に着手し、平成20年度末に完成の予定です。		
施設の構造や工法の変更等 特になし		
対応方針		
事業継続		
対応方針決定の理由 本路線は、都心と新横浜都心、港北ニュータウンセンター副都心方向の連絡を強化する本市北部地域の重要な路線であり、早期の事業完了を図る必要性は変わっておりません。		
事業概要図		
<p style="text-align: center;">山下長津田線（鴨居地区） L=1,510m</p>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。